

2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 30 日作成)

委員会名	コンクリート・ポリマー複合体小委員会	主 査 名：大濱 嘉彦
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工本委員会(鉄筋コンクリート工事運営委員会)	委員長名：嵩 英雄
設 置 期 間	2001 年 4 月 ～ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	①2001～2003 年度 「コンクリート・ポリマー複合体」に関する技術の現状報告書 (State-of-the-Art Report) の作成および公表 ②2003～2004 年度 「コンクリート・ポリマー複合体」の試験方法調査および試験方法(案)の作成	
委員構成 (委員名(所属))	主査：大濱嘉彦(日本大学) 幹事：小川晴果(大林組) 委員：飯塚 泉(日本化成)、池谷純一(清水建設)、池田 稔(建材試験センター)、 叶 健児(住友精化)、小林利充(西松建設)、小宮山 正(サシック)、 白井 篤(東京家政学院大学)、鶴田 健(マテラス)、永井香織(大成建設)、 堀田忠義(イテック)、松林裕二(太平洋マテリアル)、矢野 努(コステック)、 山田 康史(三井化学産資)	
設置 WG (WG 名：目的)	無し	
2004 年度予算	100,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	委員会：9 回開催：(5/10・8 名), (6/22・7 名), (7/21・9 名), (8/19・8 名), (9/27・10 名), (10/28・9 名), (12/1・10 名), (1/25・6 名), (3/30・12 名)
得られた成果	(成果の具体的内容, 成果の学術的・技術的・社会的価値, ホームページ等での公開の有無) ① コンクリート用塗布含浸材について、メーカーに対するアンケート調査を行い、それらの適用状況、品質規格・試験方法などについて取りまとめた。 ② コンクリート・ポリマー複合体の現場接着試験方法および防せい性試験方法に関する国内外の規格調査を行い、現状報告を取りまとめた。 ③ コンクリート用膜養生剤の試験方法に関する国内外の規格調査およびメーカーヒアリングを行い、現状報告を取りまとめた。 ④ ポリマーモルタルに関する試験方法(案)を作成した。
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 本年度の主たる活動計画は、「コンクリート・ポリマー複合体」の試験方法調査および試験方法(案)の作成であり、上記の通り、当初の目標を概ね達成した。なお、2005 年度に日本建築学会のシンポジウムにおいて、コンクリート用塗布含浸材の試験方法、コンクリート・ポリマー複合体の接着および防せい性試験方法並びにコンクリート用膜養生剤の試験方法に関する現状報告(State-of-the-Art Report)を公表する予定である。
その他評価すべき事項	コンクリート用塗布含浸材のアンケート調査結果について、2005 年度日本建築学会大会において論文 2 編を投稿・発表する予定である。